

intel
XEON[®]
PLATINUM

境界を越えて、パフォーマンスをさらなる高みへ。

セルネックス・テレコム社では、Intel[®] Xeon[®] Platinumプロセッサ搭載のターンキー方式エッジコンピューティング・ソリューションを活用し、ネットワーク機能をより顧客に近い場所へ移行しました。その方法について、詳しくご覧ください。

Lenovoの「データ中心型」インフラストラクチャー・ソリューション

Lenovo

1

背景

テキスト、映像や音声ストリーミング、ゲーム、ビデオチャットなど、私たちの暮らしで利用されるデータは増え続けています。さらに、スマートTVやフィットネストラッカー、産業用センサーなどモノのインターネット (IoT) デバイスの人気の高まりにともない、通信ネットワークにかかる負荷はますます増大しています。

多くの移動体通信事業者 (MNO) は、帯域幅、遅延、スケーラビリティの問題を食い止め、爆発的なデータ需要に対応できるよう、巨大なデータセンターを構える代わりにエッジコンピューティング・ソリューションへと移行しています。

しかし、このように広く地理的に分散されたエッジコンピューティング・エコシステムを構築・展開し管理することは決して容易なことではありません。そこでセルネックス・テレコム社の新たな挑戦が始まりました。

セルネックス・テレコム社は、EU域内のスペイン、イタリア、オランダ、フランス、スイス、アイルランド、ポルトガルおよび英国に61,000以上の拠点を構える、欧州の大手ワイヤレス通信業者です。同社は通信インフラストラクチャー・サービス、オーディオビジュアル通信ネットワーク、セキュリティや緊急サービス・ネットワークのほか、スマート都市基盤とサービス管理のためのソリューションを提供しています。

個人や企業は、いつでもどこでも接続可能な常時オンラインなサービスに依存しています。

2

課題

エッジコンピューティング・ソリューションは何十万という拠点に展開されるため、可用性と信用性が非常に重要となります。一方で、MNOでは通常、比較的少人数のエンジニアが広く地理的に分散されたネットワークに対応しているため、対処が必要な障害が少ないに越したことはありません。

アップタイムを最大化し、安定した常時接続を確保するために、セルネックス社は強力なパフォーマンスを発揮する安全なインフラストラクチャーを必要としていました。

ネットワークの構築

セルネックス社が求めていたのは単なるベンダーではありません。同社に必要なのは、現在のために構築され、かつ将来の新たなテクノロジーにも柔軟に対応し、拡張可能なモジュラー型のソリューションを提供できるパートナーでした。

そこで同社は、Lenovoと地元企業であるニアバイ・コンピューティング社とパートナーシップを組んだのです。各社が協業し、オペレーションとITの作業負荷を単一のコンパクトなプラットフォームに集約するコンバインド・エッジ・ソリューションを共同で構築しました。



準備と保護

最終的に、Intel® Xeon® スケーラブル・プロセッサを実行するLenovo ThinkSystem SE350サーバーとプロトタイプのLenovo ThinkSystem SE650サーバーを導入しました。

Lenovo ThinkSystem SE350は、頑丈でコンパクトなエッジ用に最適化されたサーバーです。ネットワーク接続ポイントや特殊な電源を必要としないため、事実上あらゆる場所に設置できます。また、幅広い動作温度範囲に対応し、防塵性や耐振動性にも優れているのが、他社にはないソリューションでした。

Lenovo ThinkSystem SE650 (現時点ではプロトタイプ) は、5Gを想定したvRANやマルチアクセス・エッジコンピューティング (MEC)、NFVインフラストラクチャー (NFVI) などの非常に大きな処理能力を必要とするアプリケーション向けにデザインされた2Uラックモジュラー型サーバーです。

いずれのサーバーも、ハードウェア改ざんや不正な動きを検出する能力と専用の管理ポートを備えており、物理的セキュリティとデータセキュリティの両面で不正アクセスからデータを保護します。

また、Lenovo Open Cloud Automation (LOC-A) ソフトウェアを使用すれば、MNOはThinkSystem SE350 Edge Server上でKubernetesやRed Hat OpenShift、OpenStackおよびVMware Cloud Foundationに対応するクラウド基盤を、迅速に配備・最適化して管理することができます。

セルネックス社はこの共同ソリューションの中立的なホストとして機能し、同社のMNOクライアントに完全なエンドツーエンドのエッジソリューションをサービスとして提供します。

このエッジコンピューティング・ソリューションは、移動体通信事業者の総所有コストを大幅に削減し、様々なバーティカルセグメントにおいて新たな視覚的使用事例に対応するようデザインされています。スケーラブルなモジュラー型ソリューションなので、オンプレミスでの専用の用途からエンドユーザー向けの分散された通信エッジサービスまで幅広いシナリオに対応することができます。



Óscar Pallarols
Global Commercial Director
Cellnex Telecom

3

成果

セルネックス・テレコム社は、同社の顧客が期待する24時間365日のアップタイムを
保証するために必要な高可用性を実現しました。また、5Gやスマートシティ、自律走
行車、その他の新興技術に対応する柔軟性も備えています。

さらに重要なことには、同社はエッジコンピューティングを高い価格競争力ととも
に手頃な価格のMNO向けマネージドサービスとして提供することができるように
なり、エンドユーザー向けパフォーマンスの向上、運用コストの削減、さらには新たな
収入源の創出にもつながっています。

✓ リモート数千
サイト

✓ アップタイム
99.999%

✓ 総所有コスト
を削減



エッジコンピューティングで向かう先は？

これまでのデータセンターを「データ中心型」へ移行することで、さらなる可能性に向けた飛躍を。

[エッジコンピューティング・ソリューションを参照](#)

LenovoおよびLenovoロゴは、Lenovoの商標または登録商標です。

Intel、IntelのロゴおよびXeonは、Intel Corporationまたはその子会社の登録商標です。

© 2021 Lenovo. All rights reserved.

Lenovo